

北海道空知地域
創生協議会

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

S O R A C H I



HOKKAIDO



きっと行きたくなる
そらち・デ・ビュー



観て、食べて、遊んで
さらに、そこからもっと。

花を見る。自然で遊ぶ。

炭鉄港めし、肉グルメ、ワインを味わい
ファームレストランを楽しむ。

サイクリングで駆ける。



知れば
／ きっと行きたくなる ／

24市町
データ付

sorachi
空知
MAP

もくじ

空知のあゆみ

- 2 日本遺産 炭鉄港
5 豊かな実り

炭鉄港めし

- 6 “炭鉱マチ”の食文化が息づく
空知ならではの郷土料理

肉グルメ

- 7 空知発祥の味付けジンギスカンから
合鴨、キジ、アスパラひつじまで！

ワイナリー&酒蔵

- 8 飛躍する空知産ワインと
土地の風土を慈む地酒

ファームレストラン

- 10 絶好のロケーションで
旬を味わう農村ランチ

サイクリング

- 11 ゆったりした風景をマイペースで駆ける
グルメもお楽しみもいっぱいの空知ロード

空知を遊ぶ①

- 12 山、川、湖沼、生き物たちの営み
大いなる自然と戯れる

空知を遊ぶ②

- 14 ここにしかない“お楽しみ”が満載
とびきりの体験が待っている

花

- 16 春から夏、そして秋
空知を彩るかれんな花たち

24市町紹介

- | | |
|-------------|--------------|
| 18 夕張市・岩見沢市 | 24 砂川市・歌志内市 |
| 19 美瑛市・三笠市 | 25 奈井江町・上砂川町 |
| 20 南幌町・由仁町 | 26 浦臼町・新十津川町 |
| 21 長沼町・栗山町 | 27 雨竜町・深川市 |
| 22 月形町・芦別市 | 28 妹背牛町・秩父別町 |
| 23 赤平市・滝川市 | 29 北竜町・沼田町 |



この事業はサマージャンボくじの
収益金を活用して実施しています。

このパンフレットは、北海道を応援する皆様からお寄せ
いただいた「ふるさと納税」を活用して作成しています。
詳しくは、北海道公式サイト ふるさと納税ページを
ご覧ください。



そらち・デ・ビュー
(※)

空を知る、という名前の通り、緑の田園風景の上に広がるのは
きれいな薄青色をした、大きな、大きな空…。

アイヌ語で「滝をくだる（ソーラップチ）」という語源を持つ「空知」は、

北海道のほぼ中央に位置し、札幌からも旭川からもほど近いエリアです。

開拓の昔から米どころとして知られ、今は果物や野菜・花の産地として、

また、ワイナリーが集中するエリアとしても知られています。

ジンギスカンをはじめとする肉グルメも豊富。

かつて国内エネルギーを支えた炭鉱の数々は、今は産業遺産として人気に。

見逃せない絶景や、心躍るアクティビティーもいっぱいです。

観光地としても、住まいとしても、いろいろな魅力に満ちた「空知」。

その楽しみ方を、24のまちの特長と共にご紹介します。

そらち応援大使の
鈴井 貴之です。
空知には美しい場所、
おいしいモノが沢山あります。
是非、空知にいらしてください。



そらち応援大使 鈴井 貴之さん

ロゴマーク

SORACHI
空知
HOKKAIDO

空知を象徴する「お米」「お酒」「石炭」と、広がる
空を連想させる「雲」をモチーフにして組み合わせ、
「空知」の漢字をスタイリッシュに表現しました。
色は、ブラックをベースにソラチブルーをアレンジ。

キャッチコピー

(※)

そらち・デ・ビュー

このキャッチコピーには、空知の魅力を知ってもら
う活動を通して、首都圏はじめ道内外あちこちに空知
が“デビュー”していくという意味と、道内外からの皆
さんが観光や移住で空知に「来て・見て・食べて・住
む」＝“デビュー”をしてもらいたい、という意味を込め
ています。空知の景観(view)を楽しんでほしい気持
ちも表しています。

空知を元気にするため活動をしています！
「北海道空知地域創生協議会」

空知管内24市町と空知総合振興局が連携して平成28年5月に設立した
「北海道空知地域創生協議会」。「空知」の地域の活性化と知名度アップ
に向け、活動しています。

ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」やSNSによる情報発信をはじめ、イベント
の開催やPRパンフレットの制作・配布などを展開し、新たな空知ファンの
獲得に向けた取組を進めています。

ぜひ、空知を表すロゴマークとキャッチコピー「そらち・デ・ビュー」で「空知」
を覚えてください。

そらち・デ・ビューHP



リットリンク
(各SNSに遷移可能)



※上記2次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、
それぞれのページに遷移することができます。

掲載されている情報は、令和6年12月現在のものです

距離は概算です。
移動の目安としてご利用ください。

日本遺産 炭鉄港 構成文化財



4 住友奔別炭鉱立坑櫓・周辺施設 三笠市

昭和35年に建築された、櫓の高さ約51m、深さ約735m、内径約6mの立坑。当時の最新鋭システムによって、鉱員・石炭・機械・スリなどを一挙に運搬できた。●三笠市奔別町



5 幌内変電所 三笠市

大正8年頃に建設されたことで電力で動く大型機械が登場し、石炭を採掘する効率が向上した。●三笠市幌内本沢町

6 北炭幾春別炭鉱錦立坑櫓 三笠市

大正9年頃に建設された現存の道内最古の立坑。櫓の高さ約10m、深さ約215m、内径約5m。●三笠市幾春別山手町



7 小林酒造建造物群 栗山町

明治33年、札幌で創業していた小林酒造が炭鉱で発展始めた夕張にほど近く、自然の豊かさや豊富な水のある栗山に酒蔵を移転しました。栗山では基幹産業である農業をベースにこれまでの歴史から生まれた産業・商業、小林酒蔵の蔵といった建造物を栗山の交流や観光の重要な拠点のひとつとしています。●栗山町錦3丁目109番地

10 旧頼城小学校(星槎大学)校舎及び体育館 芦別市

昭和29年、前年に全焼した木造校舎を70万個のレンガで再建した小学校。36教室、全長106mの廊下がある国内でも稀な規模のレンガ建築物で、炭鉱最盛期には児童数2200人超のマンモス校だった。国登録有形文化財。●芦別市緑泉町 外観の見学可



3 住友赤平炭鉱立坑櫓・周辺施設 赤平市

昭和38年に建設され、閉山の平成6年まで稼働した、高さ43.8m、深さ650mの立坑。今も当時の構造のまま、機械や電気系統も事務所までもそのままに保管され、ガイド付きで見学できる。●赤平市字赤平485番地 ☎0125-74-6505(炭鉱遺産ガイド施設) 立坑内部の見学は有料(要問い合わせ)



8 三菱美唄炭鉱竪坑櫓 美唄市

深い緑の中に浮かぶ朱色が印象的。旧三菱美唄炭鉱施設跡地を炭鉱メモリアル森林公園として整備しており、敷地内をぐるりと散策できる。昭和初期には出炭量が年間100万tを超え、三菱炭業全炭鉱の中でも第1位だった。竪坑櫓と原炭ポケットは、平成19年に経済産業省の近代化産業遺産に認定。●美唄市東美唄町一ノ沢 ☎0126-63-0138(美唄市都市整備部) 見学無料(5月～10月のみ見学可)



9 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄(旧栄小学校) 美唄市

炭鉱都市として栄えた当時、たくさんの子供が通った小学校を再利用。(P19参照)



11 旧北炭鹿ノ谷倶楽部(夕張鹿鳴館) 夕張市

大正2年に北炭の迎賓館「北炭鹿ノ谷倶楽部」として誕生。会社幹部や政治家などセレブだけが存在を知る“幻の館”だった。●夕張市鹿の谷2丁目4番地 ※現在休館中



12 樺戸集治監本庁舎(月形樺戸博物館) 月形町

明治14年の開監から廃監まで39年間の「樺戸集治監」の歩みを、当時の資料・写真、再現ジオラマなどで紹介。初代典獄(刑務所長)月形潔ら歴代の典獄の人物を紹介したり、看守の暮らしぶりや個性的な囚人たちの姿を紹介するなど、人間味を感じる展示内容になっている。多くの記録や資料から、囚人たちが道路工事に従事した際の様子もリアルに伝わる。(P22参照) ●月形町1219番地 ☎0126-53-2399 9:30～17:00(入館は16:30まで)、3月下旬～11月末(無休) 一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円、ほか各種割引あり

空知のあめ



日本遺産 炭鉄港

日本の近代化を支えた石炭 エネルギー
それを運ぶ“道”の始まりが、空知

「炭鉱遺産」、そして「炭鉄港」へと語り継がれる空知の物語

鉄を溶かす炎となり、動力を生む蒸気となり、電気を創る熱となつて日本の近代化を推し進め、やがて諸外国と並ぶほどの発展をもたらしたエネルギー、石炭。明治初期に三笠で埋蔵量豊富な石炭層が発見され官営の「幌内炭鉱」が開鉱して以来、「空知」は国内最大の採炭地に。紛れもなく、日本の繁栄を支える拠点でした。

その石炭を運ぶため、明治15年には三笠、小樽手宮間に北海道初の鉄道が誕生。人や物資を運ぶ物流の要ともなったことで、北海道の開拓も大きく進みます。しかし鉄道敷設は簡単ではなく、前人未到の原野で寒さ暑さに耐え、長時間労働に耐え、文字通り命がけで切り拓き線路を敷いていったのは、月形や三笠の集治監(監獄)にいた囚人たちでした。政治犯や極悪人だった彼らは、政府に経費節減になる労働力とさえ考えられていたのです。

最盛期の昭和30年代には大小100もあつた炭鉱ですが、時を経て石油へのエネルギー転換が進むにつれ、次々と閉山。黒いダイヤとまで呼ばれた石炭はすっかり忘れ去られ...と思いきや、近年、往時の面影を「炭鉱遺産」として保存する取り組みによって、古びた立坑櫓や施設跡などが観光スポットとして人気に。さらに、空知の石炭に端を発し、近代北海道を築く基盤となったストーリーは「炭鉄港」としてまとめられ、令和元年「日本遺産」(文化庁)に認定されました。

石炭とその利用や運搬にまつわる「石炭・鉄鋼・港湾・鉄道」のテーマで、北海道を築く拠点となった三都(空知・室蘭・小樽)を結び、その営みを後世に伝えている「炭鉄港」。中心的な役割を担った「空知」の歴史は、こうして語り継がれていくのです。



導入展示部分。夕張の概要についてコンパクトにまとめています。

1 旧北炭夕張炭鉱模擬坑道(夕張市石炭博物館) 夕張市

昭和14年に見学用坑道として整備された坑道。平成31年に発生した火災により見学できない状態が続いていたが、令和7年から見学再開。併設の博物館では、明治・大正・昭和の採炭風景や、当時使われた道具・機械、写真などの資料を通し、夕張の炭鉱の盛衰がリアルに伝えられている。●夕張市高松7番地 ☎0123-52-5500 4月～9月 10:00～17:00、10月～11月 10:00～16:00(入館は閉館の30分前)、火曜休館(GWやお盆時期などは開館)、11月～4月休館、一般1,200円、団体大人1,000円(20名以上)、小学生400円 https://coal-yubari.jp/



空知の炭鉱コンシェルジュ 2 そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター

空知の炭鉱のことを知りたかったら、まず、ここを訪ねてみるのがオススメです。「炭鉱の記憶」の情報拠点として、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団が平成21年に開設。資料・映像・印刷物の閲覧ができるほか、イベント情報や、炭鉱遺産の周辺環境の情報(歩きにくさなど)も教えてくれるので、現地巡りを始める前にぜひ寄ってほしいスポットです。●岩見沢市1条西4丁目3番地 ☎0126-24-9901 10:30～17:30、月曜・火曜休(祝日の場合は営業、翌日休み)、入場無料 https://soratan.or.jp



注意! 炭鉱遺産を訪ねる際には、自己責任で注意すべき点があります。山深い場所のため危険な野生動物や害虫も多いこと。個人・企業の所有地である場合は勝手に立ち入れないこと。崩壊の危険を持つ物件もあること、などです。事前チェックと現地での注意を万全に。

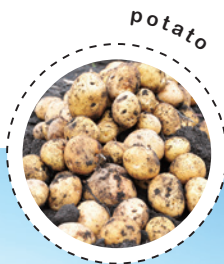


道民が「空知」に抱くイメージの一つは、おいしい道産米のとれる「米どころ」であるということです。実際、水稻の作付面積は、全道の4割以上を占めています。そのあゆみは、明治19年の北海道庁の開設と、土地を貸して入植を奨励する「北海道土地払下規制」(同22年)によって活気づきました。

全国各地から移り住んだ人たちの中には、大水害で故郷の奈良県・十津川村を離れた600戸2489人もおり、彼らの苦難は小説「新十津川物語」に描かれました。また、華族や豪商が大農場開拓を手がけるケースもあり、雨竜には「華族組合雨竜農場」が誕生。さらに、浦臼には坂本龍馬の甥・直寛が妻子と移住し、農場を経営しました(P26参照)。そして開墾や水田作りにも集治監の囚人たちが従事したことも、忘れてはいけない歴史の一コマです。



夕張川をはじめとする豊かな水の恵みも、空知の実りを支えます。



米からワインまで、
『おいしい空知』を実現

道内トップの米産地であるとともに、小麦、野菜、果実の生産も盛んな空知。夕張をはじめとするメロンなど、全国的に有名なブランド作物も育てられています。近年ではワイナリーとヴィンヤードが集中するエリアとしても知られ(P8参照、生産地を訪ねる「ワインツーリズム」が人気です。管内では、化学肥料と農薬を極力使わないクリーン農業や環境に配慮した農業にエリアをあげて取り組んでいるほか、農業と食への関心を高めてもらうための「農村ツーリズム」の実施や、地域の食材を活用するこだわりの飲食店を「北のめぐみ愛食レストラン」に認定するなど、空知の食に関するいろいろな工夫を行っています。

開拓の時代からさまざまな人々が積み上げ、その後ひき継がれている努力の数々が、今の『おいしい空知』を創りあげているのです。

【空知のまちの 主な農作物】

夕張	メロン、長いも、花豆	長沼	米、大豆、長ネギ、白菜	砂川	米、トマト、リンゴ	雨竜	米、メロン
岩見沢	米、タマネギ、小麦、白菜	栗山	米、麦類、大豆	歌志内	ワイン用ブドウ、トマト、葉野菜(水耕栽培)	深川	米、黒米、リンゴ、ソバ、サクランボ
美唄	米、ハスカップ、アスパラガス	月形	メロン、スイカ、トマト	奈井江	米、メロン、トマト	妹背牛	米、大豆、花き
三笠	米、タマネギ、メロン	芦別	米、メロン、サクランボ	上砂川	シイタケ	秩父別	米、プロッコリー、トマト
南幌	米、キャベツ、トウモロコシ	赤平	米、トウモロコシ、アスパラ	浦臼	ワイン用ブドウ、ぼたんそば、メロン、マンゴー	北竜	米、メロン、スイカ
由仁	米、花き、馬鈴しょ	滝川	米、リンゴ、なたね	新十津川	酒米・米、メロン、トマト、シイタケ	沼田	米、麦、大豆、ソバ、加工用トマト



14 クラウス15号蒸気機関車

沼田町

日本に現存する小型蒸気機関車の中で最古。明治22年にミュンヘンのクラウス機関車製造所で製造され、九州、東京を経て昭和6年に北海道へ。留萌鉄道と明治昭和鉱業所の貨物専用線(ともに沼田町)で石炭運搬に従事し、昭和42年12月まで活躍。昭和45年に町の指定文化財、平成22年にJR北海道「準鉄道記念物」に指定された。

●沼田町幌新377番地(ほろしん温泉ほたる館前)
☎0164-35・2132(沼田町教育委員会事務局)
5月上旬～10月末、見学無料



13 岩見沢レールセンター(旧北海道炭炭鉄道岩見沢工場)

岩見沢市

幌内鉄道の車輛やレールを製造・修理するために明治32年に作られた工場。現在はJR北海道のオフィスなので内部の見学は不可。

●岩見沢市有明町中央(JR岩見沢駅北出口側)



炭鉱関連

その他のスポット



今にも走り出しそうな様子で展示されています



15 三菱大夕張鉄道車輛

夕張市

石炭や乗客を運んでいた三菱大夕張鉄道の、客車、ラッセル車、石炭車を屋外で保存展示。客車は内部の見学もできる。

●夕張市南部東町(三菱大夕張鉄道保存会) 4月下旬～11月初旬、見学無料
http://www.ooyubari-rps.net

16 三笠鉄道村

三笠市

「幌内ゾーン」と「三笠ゾーン」の2か所で、北海道の鉄道に関する貴重な資料と多様な車両を展示するほか、蒸気機関車S-304の乗車体験や運転体験もできる。平成13年「空知の炭鉱関連施設と生活文化」として北海道遺産に認定。体験モノの実施日・料金など詳細はHPで確認を。(P19参照)

●三笠市幌内町2丁目287番地 ☎01267・3・1123 9:00～17:00、月曜休(祝日の場合は翌日)、10月中旬～4月中旬休 一般530円、小・中学生210円、ほか各種割引あり https://mikasa-railway.com/



「三笠ゾーン」にある「クロフォード公園」には多様な車両を展示。



18 旧三井砂川炭鉱中央立坑櫓

上砂川町

水準下660mレベルの深部採炭を目的とする立坑で、昭和62年の三井砂川炭鉱閉山時まで使用。その後、深さを活用して地下無重力実験センター(JAMIC)の落下塔となり(平成15年に廃止)、平成27年には「ハイパーカミオカンデ」の部品の強度試験のために利用と、三たび脚光を浴びた。

●上砂川町上砂川7番地 見学無料(敷地外から外観の見学のみ可能)



21 旧上歌会館(悲別ロマン座)

歌志内市

昭和28年に劇場、映画館として開館した住友上歌志内炭鉱の職員厚生施設。異端の建築家、渡邊洋治の設計した数少ない現存作品。山田洋次氏の映画、倉本聰氏のドラマロケ地としても知られる歌志内のランドマーク。

●歌志内市字上歌1-5



22 郷土館ゆめつむぎ

歌志内市

懐かしの生活用品の展示や歌志内駅ホームにあった駅名表示板を正面玄関に設置、来館者を暖かく迎えてくれます。入場料は無料。開館日や開館時間ほか詳細はHPで。

●歌志内市字本町1027番地1 ☎0125・43・2131
http://www.city-utashinai.sakura.ne.jp/kyoudokan/



23 旧幌向駅

南幌町

昭和5年に夕張鉄道が開通するまで交通が不便だったこの地で、明治45年、旅人の宿泊と馬による物品運送の便をはかるために松田与三氏が開いた駅。平成18年に文化庁の登録有形文化財に登録された。

●南幌町元町3丁目3番地19

特上ラムジンギスカン(野菜付き)



ジンギスカン



◎3タイプの味わいを食べ比べ!

ひつじの旅

綿羊を飼育していた歴史がある長沼町も、古くから味付けジンギスカンが親しまれてきたまち。ひつじの旅では、「ひつじの旅オリジナルジンギスカン」「かねひろジンギスカン」「長沼成吉思汗」の3種を一度に楽しめる「3種食べくらべセット」が人気です。(P21参照)

●長沼町東6線北4番地 ☎0123-88-2408
11:00~20:30(L020:00)、年末年始休

やげはコレ!



しいたけソーセージ

良質な道産豚に新十津川町産シタケを練り込んだ極太ソーセージ。厚さによって味わいや食感の違いが楽しめます。

販売店/ヴルストよしだ
●新十津川町中央6番地99
☎0125-72-2525

贈り物に喜ばれる人気の加工品をピックアップ。



神内和牛あか

浦臼町の広大な神内ファーム21で、ストレスなく育てられたあか毛和牛。低脂肪・良たんばくで、うまみ成分がたっぷり。

販売店/砂川ハイウェイオアシス館
●新十津川町中央6番地99
●砂川市北光336番地7
☎0125-53-2460



ふかがわポーく

深川産の米粉を与え、のびのびと育てられた放牧豚。ウインナーやベーコンなど数多くの加工品がそろいます。

販売店/道の駅ライズランドふかがわ
●深川市音江町広里59番地7
☎0164-26-3636

噛むごとに肉のうま味があふれる「あいがもスライス」



◎肉質がやわらかくジューシーで特有のクセがないのが人気の秘訣

滝川新生園

ヨーロッパ産にも引けを取らない品質と称される滝川市産のあいがも。市内のお店では鍋やそば、どんぶりなどのあいがも料理がご当地メニューとして人気です。また、あいがも商品は道の駅たきかわでも購入できます。

●赤平市共和町199番地13 滝川新生園 赤平工場 ☎0125-74-6156

Gourmet



肉グルメ

野菜や米の栽培が盛んな空知ですが、実は、古くから今も、独自の肉料理や加工品を生み出している「肉王国」でもあります。

エゾシカソーセージ



エゾシカソーセージ「ジビエ de そらち」北海道が定める「北海道HACCP」の認証制度でA評価を受けた工場で製造。クセを感じることなく、旨味を堪能できる。

◎味付けジンギスカンのパイオニア

松尾ジンギスカン 本店

昭和31年創業。クセのあった当時の羊肉を「誰でもおいしく味わえるように」と、独自の漬けだれを開発し、味付けジンギスカンを広めた草分けです。主に道産のリンゴやタマネギ、ショウガ、醤油、十数種類の香辛料をブレンドした秘伝のタレは創業時のまま。滝川市から生まれた伝統の味を堪能できます。(P23参照)

●滝川市明神町3丁目5番12 ☎0125-22-2989
11:00~22:00(L021:15)、無休、年末年始休

ジンギスカン



エゾシカジンギスカン



◎エゾシカ肉を3種の味付けで堪能

Mt.inc

空知の雄大な大自然を駆け巡ったエゾシカのジンギスカンです。プレーン、旨辛、プルコギの3種類があり誰でも食べやすい味付けになっており、お土産や贈答用にもオススメです。

●美瑛市進徳町2区 ☎0126-38-5528
9:00~17:00、木曜休、年末年始休

あいがも

◎肉質がやわらかくジューシーで特有のクセがないのが人気の秘訣

滝川新生園

ヨーロッパ産にも引けを取らない品質と称される滝川市産のあいがも。市内のお店では鍋やそば、どんぶりなどのあいがも料理がご当地メニューとして人気です。また、あいがも商品は道の駅たきかわでも購入できます。

●赤平市共和町199番地13 滝川新生園 赤平工場 ☎0125-74-6156

【美瑛市】

鶏のさまざまな部位が一本の串に!

美瑛焼き鳥

提供店リスト

●焼とり たつみ 美瑛市西1条南1丁目1番15 ☎0126-63-4589
●元祖美瑛やきとり 福よし 美瑛本店 美瑛市西1条南3丁目2番16 ☎0126-63-3451
●味心 三船 美瑛市西2条南4丁目1番1 エスビル2階 ☎0126-63-2709
ほか多数あり



【歌志内市】【三笠市】

柔らかな馬の腸に味噌が染み込む
なんこ料理



馬の腸をゆでた後、柔らかくなるまでじっくり煮込み、タマネギを入れて味噌で味付けしたもの。炭鉱マチでは、体が温まる冬の味として親しまれ、ゴボウやコンニャクなどの具材、ショウガやニンニクといった隠し味の違いで、家庭それぞれの味わいがあります。(P24参照)

【赤平市】

炭鉱長屋への郷愁を込めて命名
がんがん鍋



味噌仕立てのスープに、豚のホルモンや豆腐、野菜などを入れて煮込む鍋料理。かつて炭鉱長屋では、この鍋を石炭ストーブの上で煮立たせ、仲間や家族と味わったそうです。時を経て命名された「がんがん鍋」には、ストーブをがんがん焚いて、がんがん煮込み、がんがん食べて、語り、働くという、当時の食文化への思いが込められているのです。(P23参照)

提供店リスト

●焼肉のたきもと 赤平市茂尻中央町南1丁目7番地 ☎0125-32-2265
●八千代寿司 赤平市本町2丁目1番地 ☎0125-32-2065
●寿しの松川 赤平市大町1丁目2番地16 ☎0125-32-3065 ※要予約

Gourmet



炭鉄港めし

“炭鉱マチ”の食文化が息づく
空知ならではの郷土料理

提供店リスト

●うたしないチロルの湯 レストラン チロル 歌志内市中村78番地3 ☎0125-42-5588
●まんぶく食堂 三笠市幸町6番地11 ☎01267-2-2429



【芦別市】

とろ〜り具だくさんの中華風スープ
ガタン

提供店リスト

●きんたろう 芦別市北4条西1丁目3番地19 ☎0124-22-8205
●新宝来軒 芦別市上芦別町38番地 ☎0124-23-1504
●道の駅「スタープラザ芦別」レストラン・フルール 芦別市北4条東1丁目1番地 ☎0124-23-1437
ほか多数あり

とろみのあるスープに、細かく切った豚肉や野菜など10種類以上の具を入れ、溶き玉子でふんわりとじたスープ。中国の家庭料理がルーツといわれ、炭鉱マンがお酒を飲んだ後に、家で味わうメニューとして愛されていたそうです。一度は消えかけてしまいましたが、市内の飲食店などがご当地グルメとして復活させ、ラーメンなどアレンジメニューも提供しています。(P22参照)

石炭資源開発の中心として栄えた空知の炭鉱マチには、それぞれの暮らしの中で生まれ、愛されてきた数々の食文化が根付いています。かつて炭鉱マンたちが冷えた体を温めるために仲間や家族と囲んだ鍋料理をはじめ、スタミナ源として好んで食べた焼鳥、お酒の後のメとして味わったという具だくさんのスープなど。その味わいは違っても、炭鉱マンの体を気遣う工夫や愛情が詰まっています。

炭鉱の灯が消えた今でも、地域ごとで守り継がれる代表的な炭鉄港めしを味わってみてください。



明治30年築の風情あふれる「小林家」

小林酒造

夕張川のほとりに、明治期の重厚なレンガ蔵と石蔵が立ち並ぶ老舗の蔵元です。小林酒造の歴史資料が展示された「北の錦記念館」の直売コーナーでは、全商品の購入や無料試飲が可能。ガイド付き酒蔵見学（要予約）を行っているほか、敷地内には明治30年築、初代・小林米三郎の住宅を一般公開している「小林家」(☎0123-76-7228 要予約、水曜休)など見どころが点在しています。(P21参照)

●栗山町錦3丁目109番地☎0123・72・1001
北の錦記念館10:00～17:00 (11～3月は～16:00)、12/31～1/3休、記念館直通☎0123・76・9292見学は10名以上～受付、5日前までに要予約



「北の錦 特別純米 まろ田」(左)
「北の錦 特別純米暖簾ラベル」(右)

米どころで育まれる本物の地酒。清らかな水と空気に恵まれ、道内有数の米どころでもある空知では、古くから気候風土に寄り添った酒造りが行われてきました。栗山の「小林酒造」は、明治初頭の創業以来、「北海道でしか醸せない酒」を追究。夕張山系の伏流水と道産米100%を原料に、道産子杜氏が真正正銘の「地酒」を醸しています。添加物を一切加えず、炭による濾過も行わない酒は、黄金色を帯びた独特の色合いが印象的です。一方、北海道で酒造好適米の作付面積トップの新十津川に構えるのが、明治39年創業の金滴酒造。いち早く道産米を使った酒造りを始め、地元の水と農家とともに、酒米の試験栽培・醸造にも取り組んできました。徳富川の伏流水と「吟風」など新十津川産の酒米にこだわり、地域に根差した酒造りを手掛けています。水と米と風土、作り手の情熱が生み出す地酒は空知の宝物です。

金滴酒造

昭和40年代から道産酒米を使った酒造りに着手。現在は、ピンネシリ山系を源とする「徳富川」の伏流水を仕込み水に、地元産の「吟風」「きたしずく」を中心に、全量北海道産酒米を使用し、新十津川町ならではの味わいを目指しています。少量生産ながら、職人が丁寧に醸す酒は、米のうま味と風味が生きたふくよかな味わいです。(P26参照)

●新十津川町中央71番地7 ☎0125-76-2341
直売所8:30～17:30 (土曜・日曜・祝日は10:00～16:00)、無休、1月1日～3日定休、蔵見学は要問合せ



シンガーソングライターの「さだまさし」さんが揮毫した「金滴 大吟醸酒 33」(中)と「純米吟醸原酒 きたしずく」(右)。北竜町産米を使った「純米吟醸酒 北竜彗星」(左)などのご当地酒の委託醸造も手掛けている。

まだある！
そらち酒

どぶろく一魂 (いっこん)

長沼町の販農場が自家製手で作り出すどぶろく。普通、甘口から、とろりとした口当たりのもち米を使ったタイプまで5種類がそろいます。

販売店 / 農産物直売所 夢きらら
●長沼町西3線北12番地
☎090-3893-2405

ふかがわシードル

深川産りんごを100%使用した果実酒。吟醸造りで丁寧に仕込み、発酵過程で生み出される炭酸とフルーティーな香りを閉じ込めました。

製造・販売 / アップルランド山の駅おとえ
●深川市音江町字音江589番地28
☎0164-25-1900

滝川クラフトビール

滝川クラフトビール工房が伝統的な醸造方法で手掛けるクラフトビール。空知ビルスナー、空知エール、空知ヴァイゼン、りんご&ドライの4種類をラインナップ。(P23参照)

販売店 / 燈珈琲店など
●滝川市大町1丁目6番1号
☎070-4708-5117

ワイナリー & 蒸溜所

10R ワイナリー

海外の名立たるワイナリーで活躍した後、栃木県で20年以上にわたって醸造を手掛けてきたブルース・ガットラヴさんのカスラムクラッシュ(受託醸造)ワイナリー。

●岩見沢市栗沢町上幌1123番地10
☎0126-33-2770
※直売所なし、見学は要予約

TAKIZAWA WINERY

2013年にワイナリーを開設。農業や肥料を極力使わず土地の力でブドウを育て、醸造も野生酵母を使用。看板商品は自社畑ブドウ100%の「TAKIZAWA」など。

●三笠市川内841番地78
☎01267・2・6755 直売所10:00～16:00 (11～3月は15:00まで)、土日火休、見学は要予約

馬追蒸溜所

2022年、かつての日本一小さなワイナリーから蒸溜所を兼ねる酒造場としてリニューアル。長沼町の馬追丘陵にてワイン、ウイスキー、ブランデー造りを営んでいます。

●長沼町加賀団地 ☎0123-88-3704
ショップ・見学13:00～15:00、土日祝のみ、1～3月は冬期休業、見学は要予約

えべおつWein

滝川市江部乙町で収穫されたブドウを使用した白ワイン「Regenbogen-虹」が2019年に初リリース。滝川市唯一のワイナリーであり野生酵母で発酵熟成させたワインが特徴。

●滝川市江部乙町東11丁目758
※直売所なし、見学は要問合せ

ヴィンヤード

鶴沼ワイナリー

小樽市に本社を構える「北海道ワイン」の直轄ヴィンヤード。約100haを超える広大な畑では、多くのワインコンクールで常に上位入賞しているワイン用ブドウが栽培されています。

●浦臼町於札内428番地17
☎0125-68-2646
直売所9:00～16:00 (季節によって変動あり)、年末年始定休、見学は要問合せ

ナカザワ ヴィンヤード

華やかな香りと爽やかな酸の余韻が魅力の白ワイン「クリサワブラン」のブドウを手掛けるヴィンヤード。自然に寄り添った栽培方法が特徴。

●岩見沢市栗沢町加茂川1140番地
※直売所なし、見学は不可

KONDO ヴィンヤード

三笠市と岩見沢市、2か所の農場では農業などの使用は極力控え、幾つかの品種をランダムに植える「混植」を行っている。

●タブ・コブ農場 / 三笠市達布地区、モセウシ農場 / 岩見沢市栗沢町茂世丑774番地2
※直売所なし、見学は不可

https://www.kondo-vineyard.com/

※一部のワインの写真及び銘柄については、初版(平成28年9月発行)当時の情報となっております。最新の情報は各ワイナリーにご確認ください。

ワイン大好き「白子ねえさん」(P26参照)は空知のワインを応援しています



「シャルドネ樽発酵」(左)「ピノ・ノワール」(右)

YAMAZAKI WINERY

三笠市達布山の麓で代々営業を営む山崎和幸さんが、2002年に農家としては日本で初めてワインの醸造免許を取得。自社畑ブドウ100%にこだわり、繊細で酸味のあるエレガントな味わいを目指してワインを造っています。そのため、栽培も醸造も人間本位ではなく季節の移ろいとブドウの生長に足並みを揃えて、すべての作業を進めています。

●三笠市達布791番地22 ☎01267・4・4410 直売所10:00～17:00 (11～4月は～15:00)、土曜・日曜・祝日のみ営業、見学は畑は可、醸造施設は不可



左から直売所限定販売の「ナイアガラスパークリング」。「オレンジピンクロゼ」、「RICCA雪の系譜シャルドネ」、「RICCA雪の系譜レンペルガー」。

世界から注目される 北海道産ワインの聖地

北海道の夏は、梅雨や台風の影響が少なく、からりと爽やかで、昼夜の寒暖差が大きいことが特徴。これは、ブドウの栽培においてフランス・シャンパーニュ地方と同じ気候区分にあたり、近年、北海道はワイン醸造用ブドウの産地としてますます期待が高まっています。なかでも、大きく飛躍しているエリアが、現在、11か所のワイナリーと多数のヴィンヤードが集中している空知です。北海道では育たないとされた「ピノ・ノワール」などフランスの高級ワイン用ブドウの栽培に先駆者たちが挑み成功させた実績が、国内外の醸造家や生産者から注目されるきっかけとなりました。ワイナリーを巡り、目で舌で、個性豊かな空知産ワインの魅力に触れてみましょう。



ワイナリー & 酒蔵

飛躍する空知産ワインと 土地の風土を慈しむ地酒

YAMAZAKIならではの
爽やかな酸とミネラル感
をお楽しみください

醸造責任者
山崎 亮一さん

宝水ワイナリー

丘陵地一枚畑が美しい田園風景を描くワイナリー。ケルナー、レンペルガーからスタートした自社畑は、シャルドネやピノ・ノワールが加わり、現在は約9haにまで広がりました。自社畑ブドウ100%の「RICCA」雪の系譜は、岩見沢の気候風土を感じさせる人気シリーズ。映画のロケ地になったことでも話題になりました。

●岩見沢市宝水町364番地3
☎0126-20-1810 直売所10:00～17:00、1～3月の火曜・水曜休、見学は要予約





cycling



サイクリング

ゆったりした風景をマイペースで駆ける
グルメもお楽しみもいっぱいの空知ロード

田園風景に囲まれながらどこまでも続く、平坦な道路。気持ちよく風を切る、などらかな勾配の道。ビギナーや子供でも、お天気がいいから！、と思いついたら気軽に走り出せるのが空知の道のイイところ。札幌や旭川から走りに来るファンも多く、車道を離れて農道や生活路に入れば、ゆったり息づく、人の暮らしがあり、その雰囲気に触れながら走れるの、いいのだそう。一方で山岳部には変化に富む起伏の場所も多く、気分や好みに合わせてコース取りできるのも魅力です。

農産物に恵まれた地の利を生かし、食と結びつけたサイクリング・イベントも開催。多彩なコースを紹介したサイトも充実しています。

空知のサイクリング・イベント

毎年開催されている恒例のサイクリングイベントです。いずれも、参加条件、参加費など、募集の詳細については問い合わせを。

北海道そらちグルメフォンド

開催 8月ごろ
開催地 南空知



●詳細・問い合わせはWEBサイトへ <http://gf-sorachi.net/>



空知ならではのロケーションやスポットを楽しめるよう考えられたコース設定と、完走後に地元産の食材を使った「おもてなし料理」を味わえることで人気のイベント。空知の魅力をサイクリングを通して体感できます。

ゆにボタリング

開催 春～秋頃
開催地 由仁町の公道



「見る」・「食べる」・「体験する」をテーマに、お店やスポットを自転車でゆっくり巡るボタリングツアー。広大な景色を楽しみつつ、収穫体験やグルメも満喫できます。

●一般社団法人由仁町観光協会
☎0123-83-2136
(NPO法人ユニライズ ☎0123-76-9142)



チェック!

一部のまちでレンタサイクルを営業しています。お気軽に空知のサイクリングコースをお楽しみください。

岩見沢	岩見沢市観光協会 岩見沢市有明町南1番地1 有明交流プラザ1階 ☎0126-22-3470
美瑛	青の洞窟温泉ビバの湯ゆ〜りん館 美瑛市東明町3区 ☎0126-64-3800
三笠	北海道三笠観光協会(道の駅「三笠」内) 三笠市岡山1056番地1 ☎01267-3-2828
滝川	たきかわ観光協会 滝川市栄町4丁目9番1号 ☎0125-23-0030
砂川	SuBACo(まちなか交流施設「すない」内) 砂川市西1条北2丁目1番1号 ☎0125-74-4885
深川	深川観光案内所(深川駅構内 深川観光協会) 深川市1条9番4号 深川駅構内 ☎0164-34-5591
月形	皆楽公園 ※レンタサイクルは公園内の使用を推奨 月形町北農場1 ☎0126-53-2577
新十津川	美緑の宿グリーンパークしんとつかわ 新十津川町字総進189-1 ☎0125-76-4000
	サンヒルズ・サライ 新十津川町字総進188-5 ☎0125-76-3000
沼田	株式会社まちづくりぬまた 沼田町4丁目2番2号 まちなかほっとタウン ☎0164-34-5113

ファームレストラン リヴィスタ

Farm Restaurant RIVISTA

ミルクが香るモッツアレラに感激!

フレッシュトマトとモッツアレラの Pasta



約40haの広大な放牧地で牛たちがのんびりと草をはむ岩瀬牧場の直営レストラン。自家牧場の新鮮な生乳から作るモッツアレラチーズを使った Pasta やピッツァが人気で、ミルクの優しい風味がとろりと溶け合います。

●砂川市一の沢237番地6
☎0125-56-2166
11:30~20:00(LO19:00)、
水曜休(ゴールデンウィーク、
夏休み期間の営業は要問合せ)、
年末年始定休



牧草仕上げ黒毛和牛プレート
ハンバーグダブル

ファームカフェ菅野牧園

黒毛和牛繁殖牧場が営む
ファームレストラン

自家牧場産の黒毛和牛肉のお料理を、地場産の新鮮な野菜や果物とともに、田園風景を眺めながら楽しめます。

●栗山町御園170 ☎070-3928-3782
お食事11:00~15:00、カフェ14:00~15:30、日~木曜
休、冬期休業(SNSでご確認を) ※予約がおすすめ



おうちごはん Komame

週替わりのデザートも楽しめるオシャレ空間

南幌町のどかな田園風景にたたずむカフェ。7~8種の新鮮野菜をのせた彩り野菜カレーや生薑キーマカレー、昔懐かしのスクレットナポリタンなど心温まる料理が魅力です。お隣の、地元で採れた新鮮野菜が並ぶ野菜直売所に立ち寄るのもオススメ。

●南幌町南16線西18
☎080-5910-2277
11:00~14:30、土日祝休、11月~5月中旬
冬季休業、臨時休業あり(WEBでお知らせ)



生薑キーマカレー

夕日ヶ丘レストラン ぜん しょう 善生

ふっくらご飯で米のおいしさを実感

店主の善生さおりさんの実家は、栗沢で4代続く米農家。家族が丹精込めて育てた安心・安全なお米や野菜がメニューの主役です。

夕日ヶ丘オリジナルランチ

●岩見沢市栗沢町栗丘124番地 ☎0126-45-5111 11:00~15:00
(LO14:30)、平日17:00~20:30(LO19:30)、土日17:00~21:00
(LO20:00)、月曜休(祝日の場合は翌日休)、ほか不定休あり

ファームレストラン ハーベスト

ポテト料理の食比べを楽しもう

長沼町でリンゴ園を営む農家のファームレストラン。コロケやイモ餅、サラダなどジャガイモ尽くしの「農園ポテトセット」はボリューム満点です。

一番人気の農園ポテトセット

●長沼町東4線北13番地 ☎0123-89-2822 11:00~17:00
(LO16:00)、土曜・日曜・祝日は~20:00(LO19:00) ※季節によって変動あり。木曜休、12~2月は木曜と水曜休、年末年始定休



キッチンファームヤード

野菜満載のスーパースパイスが人気

自家農園の野菜やハーブ、果物を使い、ソースまで手作りにこだわった農家レストラン。野菜たっぷりのスーパースパイスが看板メニュー。

農園サラダが付く
スーパースパイスセット

●由仁町西三川913番地 ☎0123-86-2580
11:00~18:00(LO17:00)、土曜・日曜・祝日11:00~19:00
(LO18:00)、火曜・水曜休(祝日、お盆、年末年始を除く)



ファームレストラン

絶好のロケーションで
旬を味わう農村ランチ

カフェ ピノキオ

緑に囲まれた素敵なログハウスのお店

国産豚肉100%のひき肉に、自家農園のトマトを用いて作られたソースを使った「自家製ミートソース生パスタ」や、「野菜クリームパスタ」など、7種類のパスタを味わえるレストラン。季節の野菜を使用したサラダの他、ドリンクやケーキセットもあり、木の温かみのある店内でゆっくりとお食事やカフェタイムをお楽しみいただけます。

●砂川市焼山264-1
☎0125-52-3678
11:00~16:00、月曜・火曜休(GW、お盆期間中は月曜・火曜営業)



自家製ミートソース生パスタ

搾りたてのミルクで作るフレッシュチーズに、季節ごとの野菜をたっぷり使ったプレートランチ、米農家のふっくらごはんなど。あちこちに点在するファームレストランで、産地ならではのおいしさと出合えるのも、空知を巡る醍醐味の一つです。自家農場や近郊の食材を生かした地産地消のメニューはもちろん、ゆったりと流れる時間や、のどかなロケーションもごちそう。

食後は、レストランに併設する直売所やショップで、新鮮な農産物、オリジナルの加工品などおみやげ選びを楽しみましょう。



ダム completionで水没した街を湖面から探検するツアー

夕張



簡単な作業で作れるバードコール

ゆうばり自然体験塾

「まなぶ・つくる・かんじる」をテーマに、夕張の魅力をさまざまな体験や自然、人との関わりを通して伝えている。シューパロダムでのカヌー体験やバードコール作りなど、地域の特徴を生かしたメニューを体験できる。

● ☎0167-22-1935(富良野事務所)
体験料はメニューにより異なる(要予約)
<http://yubari-taikennyuku.com>



オオムラサキ



オオムラサキの幼虫



飼育舎外観

ふるさといきものの里 オオムラサキ館

豊かな自然環境など地域の魅力を発信する、自然学習や交流活動の拠点施設が2018年7月にリニューアルオープン。栗山町は国蝶・オオムラサキの日本の北東限生息地。地域に生息する昆虫や魚の展示、オオムラサキの羽化の様子も観察できる。羽化は7月上旬～中旬が見ごろ。(P21参照)

● 栗山町桜丘2丁目38番地5 ☎0123-72-3000
10:00～17:00、火曜休、祝日の翌日休、年末年始休、入館無料

栗山

川流れ体験



スノーシュー探検



う えんべつ

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

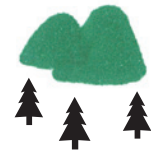
栗山の自然に触れながら、五感を使って楽しむ「ふるさと自然体験プログラム」を60種類以上用意。夕張川での川流れ体験や里山での焼き芋体験、夜の森の探鳥会、冬のスノーシュー探検など、ユニークなプログラムが満載。(P21参照)

● 栗山町雨煙別1番地4 ☎0123-72-1696 9:00～18:00(12～3月は～17:00)、火曜休、年末年始休 体験料はプログラムにより異なる(要予約)
<http://uenbetsu.jp>

栗山



空知を遊ぶ



①

宮島沼

渡り鳥が数多く飛来するラムサール条約登録湿地。とりわけマガンの飛来地としては世界有数の存在だ。最大で8万羽を超えるマガンが沼から一斉に飛び立つ早朝と、群れが戻ってくる夕暮れ時のダイナミックな光景は、圧倒的な迫力で見守る者を魅了する。マガンの最盛期は4月中旬～下旬、9月下旬～10月上旬。(P19参照)

● 美唄市西美唄町大曲3区 ☎0126-66-5066(宮島沼水鳥・湿地センター) センター開館時間は9:00～17:00(マガン最盛期は延長あり)、月曜休館(祝日の場合は開館、翌平日閉館)、祝日の翌日休、年末年始休(マガン最盛期は休館日なし)
<https://www.city.bibai.hokkaido.jp/site/miyajimanuma/>

美唄



雨竜沼湿原

標高850mの高地に広がる日本有数の山岳型高層湿原。面積は約100ha。中央をベンケヤナギ川が大きく蛇行しながら流れ、大小700以上の池塘(ちとう)が点在している。春から秋にかけては200種類以上もの植物を観察できる。北海道遺産指定。ラムサール条約登録湿地。(P27参照)

● 暑寒別天売焼尻国定公園・特別保護地区内雨竜沼湿原
ゲートパーク雨竜町338番地2 ☎0125-77-2673(雨竜町観光協会)

雨竜

豪快な滝と紅葉の
美しいコントラストを
楽しめる



三段滝公園

多くの人が訪れる紅葉の名所。高さ約10m、幅70mの階段状になった三段の岩を水しぶきをあげながら豪快に流れ落ちる滝と、その周囲を彩る紅葉の対比が美しい。見ごろは例年9月下旬～11月上旬。(P22参照)

● 芦別市芦別 ☎0124-27-7380(芦別市都市建設課)

芦別



1 ほぼ真円形の池塘があちこちに点在している。2 雨竜沼湿原の固有種ウレウコウホネ。3 エゾカンゾウが咲く湿原。1周約4kmの木道が整備されている。



毎年ほたるの
見ごろに合わせて
「ほたる祭り」も開催



1 平成2年からほたるの飼育を開始。今では「ほたるの里」全体に生息して自然繁殖ようになった。
2 暗闇の中に美しい軌跡を描くほたるの光。大人も童心に戻り幻想的なひとときを楽しめる。

ほたるの里

自然豊かな幌新地区北部に広がる「ほたるの里」では、7月上旬～8月上旬、美しく幻想的に飛び交うほたるの光を散策しながら鑑賞できる。約8haの敷地内には人工水路があり、ほたる学習館も設けられている。(P29参照)

● 沼田町幌新377番地 ☎0164-35-2155(沼田町産業創出課) 見学無料
※「ほたる保護条例」(沼田町制定)によりほたるの捕獲は禁止されている

沼田

中央部を縦走する大河・石狩川と、大地を縫うように流れるその支流の数々。南西部に広がる豊かな石狩平野。雨竜沼湿原のある暑寒別天売焼尻国定公園やシューパロ湖のある富良野芦別道立自然公園。マガンの飛来地として世界的に知られる宮島沼…。空知エリアの恵まれた自然環境は、枚挙にいとまがありません。
フィールドに飛び出せばその雄

大さを全身で感じ取るのはもちろん、遊びの要素を取り入れながら大人も子供も自然を享受できる、空知の特色を生かした体験メニューも豊富に用意されています。
国蝶・オオムラサキの羽化の様子やほたるが飛び交う日本の夏の原風景、渡り鳥をはじめとする野生動物たちの営みを、季節ごとに間近で見ることがするのも大きな魅力です。

山、川、湖沼、生き物たちの営み
大いなる自然と戯れる



きれいなピンク色のローズソフト。バラから抽出したエキスが入っている。



赤平

あかびら春らんまんフェスタ

赤平市は東北以北では最大規模の胡蝶蘭の生産地。毎年4月、道内最大規模となる蘭の展示会「あかびら春らんまんフェスタ」を開催。胡蝶蘭やクールオーキッドなど世界のさまざまな蘭を一堂に展示する。(P23参照)

●赤平市泉町1丁目1の33
☎0125・32・1841(赤平市交流センターみらい)



岩見沢

いわみざわ公園バラ園

約4haの敷地で約630品種8800株のバラとハマナスを無農薬栽培している。花の見ごろは6月下旬～10月中旬。園内ではローズソフトも販売。例年7月上旬～中旬、あやめとバラの祭典「彩花まつり」も開催している。(P18参照)

●岩見沢市志文町794番地 ☎0126・25・6111(室内公園 色彩館) 9:00～17:00(季節により延長あり)、無休 入園無料、室内公園は大人150円、小中学生50円
<http://www.iwamizawa-park.com>



北竜

北竜町ひまわりの里

見ごろは7月下旬～8月上旬。約200万本のひまわりで、23.1haの丘一面が黄色に染まる。開花シーズンに合わせて毎年「ひまわりまつり」を開催。趣向を凝らしたデザインの巨大なひまわり迷路(有料)は名物になっている。(P29参照)

●北竜町坂谷143番地2 ☎0164・34・2082(ひまわり観光センター)

北竜

北竜

北竜



ゆにガーデン

15のテーマガーデンからなる庭園では、春の花スイセン、モクレン、サクラ、ハナモモ、ナノハナ等から、夏に向かってルビナス、シャクヤク、アジサイ等へ開花リレーをしていきます。また、夏はローズガーデンには美しいバラたちの良い香りが漂い、アジサイの小径では、涼し気なアジサイたちの中を散歩していただけます。そして秋は北海道最大級32000株のコキアの紅葉が圧巻の景色を織りなします。この他に地元近郊の野菜を使用したレストランやカフェ、オリジナル商品も多数あるショップやマーケット等、美味しいものも盛りだくさん!ご家族、お友達、恋人と楽しいひとときを過ごすのにピッタリのお出かけスポットです。(P20参照)

●由仁町伏見134番地の2 ☎0123・82・2001
<https://yuni-garden.co.jp/>

https://yuni-garden.co.jp/



花

丸山公園

道内でも珍しいカタクリの群生地。雪解け間もない5月上旬、園内は薄紫色のカタクリの花で埋めつくされる。見ごろは約1週間。敷地内には同公園を訪れた北原白秋の歌碑もある。(P27参照)

●深川市一巳町一巳2527番地78 ☎0164・34・5581(深川観光協会) 無休(冬季間閉鎖)



季節が移り変わるごとに、色とりどりのかれんな花々で覆われる空知の大地。エリア内には数多くの花の名所があります。雪解け後、いち早く春の訪れを告げるのはカタクリの花。深川の丸山公園は道内有数の群生地です。咲き誇る桜のトンネルを楽しめるのは、奈井江のにわ山森林自然公園。滝川の江部乙地区では、広大な丘陵地帯二面に菜の花畑が広がります。胡蝶蘭の生産地として有名な赤平では、毎春、道内最大規模の蘭の展示会を開催しています。初夏と秋の2回、見ごろを迎えるのがバラです。空知には、秩父別のローズガーデンちっぷべつ、岩見沢のいわみざわ公園バラ園があり、ゆったりと鑑賞できます。日本最大規模のひまわり畑を誇る北竜では、ひまわりの巨大な迷路で遊ぶこともできます。由仁の英国風庭園・ゆにガーデンでは、テーマガーデンごとに季節を彩る花々のリレーを楽しめます。

にわ山森林自然公園

エゾヤマザクラやソメイヨシノなど約1800本が植えられ、桜のトンネルの中を散策しているような趣を楽しめる。見ごろは5月上旬～中旬。奈井江の街並みや樺戸連山を一望できる展望台もある。(P25参照)

●奈井江町東奈井江59番地7 ☎0125・65・2118(奈井江町産業観光課) 5～10月、8:30～日没(季節により異なる) 入園無料



滝川

菜の花畑

5月中旬～下旬、菜の花の黄色いじゅうたんが江部乙地区を中心に市内一面に広がる。菜の花畑は滝川の春の風物詩。見ごろに合わせて「たきかわ菜の花まつり」も開催。(P23参照)

●たきかわ観光協会 ☎0125・23・0030



安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

美唄市出身の世界的彫刻家・安田侃氏の作品を展示する野外彫刻美術館。1981年に閉校となった旧栄小学校の建物と周囲の自然に現代アートが融合する憩いの広場となっています。(P3参照)

●美唄市落合町栄町 ☎0126-63-3137 9:00～17:00、火曜休、祝日の翌日休(日曜は除く)、年末年始休(HP要確認) 入館無料 <https://artepiazza.jp>



ピパの湯 ゆ〜りん館

桜の名所・東明公園がある丘の上の温泉宿泊施設。イタリア・カプリ島の「青の洞窟」をイメージした露天風呂が人気です。夜になると青くライトアップされ、眼下には美唄市街の夜景が広がります。

●美唄市東明町3区 ☎0126-64-3800 日帰り入浴7:00～21:00、無休、入浴料は大人650円、子ども300円、幼児無料

美唄市 Data

🚌公共交通／JR札幌駅から特急でJR美唄駅まで約35分、JR旭川駅から同じく約50分
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道美唄IC経由で約40分、旭川から同じく約50分
【お問い合わせ】
美唄市経済部経済観光課観光振興係 ☎0126-63-0112(直通)
ホームページ／<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/>
【移住・定住のお問い合わせ】
美唄市総務部広報情報推進課DX・まちづくり推進係 ☎0126-62-3137(直通)



Bibai

アイヌ語で「カラス貝の多い所」を意味する「ビバ・オイ」から

美唄

特産品



米粉パン

米どころの美唄では、米粉の活用にも力を入れています。中でも米粉を使ったパンはもちもちとした食感で人気。製造は市内のパン工房「ずいーらベーカリー」が手がけています。

●美唄市栄巳町2区 ☎0126-64-2089 9:00～19:00、火曜休(時期によって変動あり)

農業と自然が調和する 実り豊かな田園のまち

日本一の直線道路(国道12号)29.2km、ラムサール条約登録湿地「宮島沼」、安田侃彫刻美術館「アルテピアッツァ美唄」、美唄焼き鳥：など、全国的・世界的に有名な名物を数多く持つまち・美唄。ほかにも、約200本の桜が咲き競う桜の名所「東明公園」や、雪冷熱エネルギーを活用した施設などが挙げられます。農産物では米のほか、ハスカップやアスパラガスも人気です。炭鉱関連の施設(P3参照)も観光スポットとして注目されています。



三笠ジオパーク

アンモナイトの時代から炭鉱まちとして栄えた現在まで、一億年の時間旅行が楽しめる三笠ジオパーク。市内各エリアで、地層や炭鉱遺産、鉄道などの地に息づく歴史や文化に親しむことができます。(P3、4参照)

●三笠市幸町2番地 ☎01267-2-3997(三笠ジオパーク推進協議会)

北炭機春別炭鉱鎮立坑構

三笠メロン

三笠でメロンの栽培が始まったのは大正時代。以来、風土に合わせた独自の栽培方法で、三笠メロンという地域ブランドを確立してきました。

●北海道三笠メロン食の匠協議会 ☎01267-2-3996(農林課)



特産品

囚人が故郷の奈良を偲んで集治監の裏山を三笠山と呼び、明治39年に3村合併した際にそこから命

Mikasa

三笠

三笠北海盆おどり

北海盆唄発祥の地といわれる三笠で最も大きなお祭りです。幾層もの踊りの輪が高さ8mの櫓を囲み、生唄・生演奏で盆おどりが行われます。仮装盆おどりや花火大会、石炭カッパレースなど多彩なプログラムがあり必見です。

●三笠中央公園 ☎01267-2-2249(実行委員会)



道の駅 三笠

国道12号沿いに位置する北海道第一号の道の駅。巨大な水車が目印の「農の館」では、三笠で昔使われていた農機具を紹介。地元の農産物などを販売する売店やパークゴルフ場、日帰り入浴・宿泊ができる温泉施設もあります。

●三笠市岡山1056番地1 ☎01267-2-5775 8:30～17:00(施設・時期により異なる)、月曜休(祝日の場合営業、翌日休)



歴史を受け継ぎながら 新たな魅力を創出

北海道における石炭産業の発祥地であり、石炭を運搬するための産業鉄道が日本で最初に誕生した三笠。現在の歴史や施設を活用した産業遺産を観光スポットとしているほか、地域資源を活かした「三笠ジオパーク」の整備などを行い、新たなまちの魅力づくりに取り組んでいます。道内公立高校で唯一の「食物調理科」がある市立三笠高校では、高校生レストラン「MIKASA COOKING ESSOR」(ミカサクッキングエッソール)がオープンし、賑わいを見せています。

三笠市 Data

🚌公共交通／札幌駅前ターミナルから中央バス(都市間高速バス)で1時間16分
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道三笠IC経由で約30分、旭川から同じく約1時間
【お問い合わせ】
三笠市企画財政部企画調整課企画係 ☎01267-2-3182
ホームページ／<http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/>
【移住・定住のお問い合わせ】
三笠市企画財政部企画調整課定住対策係 ☎01267-2-3182



🏠日ハム・コンサドレーの指導者招致や市営塾の開設など子どもたちへの支援

南空知エリア



幸福の黄色いハンカチ想い出ひろば

高倉健、倍賞千恵子が主演した山田洋次監督による名作「幸福の黄色いハンカチ」のロケ地となった炭鉱住宅を保存。風にはためく黄色いハンカチは、映画のシーンそのまま。

●夕張市日吉5番地 ☎080-3230-0755(一般社団法人夕張市観光プロモーション) 9:30～17:00(4月下旬～9月) 9:30～16:00(10月～11月上旬) 冬期間休業 入館料は大人550円、子ども300円、シニア500円

夕張市 Data

🚌公共交通／JR札幌駅からJR新夕張駅まで特急で約1時間30分
🚗自動車利用／札幌から道東自動車道夕張IC経由で約1時間20分。旭川から道央自動車道若見沢IC経由で約2時間

【お問い合わせ】
夕張市地域振興課商工観光係 ☎0123-52-3128
ホームページ／<http://www.city.yubari.lg.jp>
【移住・定住のお問い合わせ】
夕張市地域振興課地域振興係 ☎0123-52-3141



「純米 ゆあみさわ」

岩見沢産の酒造好適米「慧星」で仕込んだ口当たりが良く芳醇な味わいの純米酒です。JAいわみざわAコープをはじめ、市内各店で販売。

特産品



ログホテル メープルロッジ

毛陽小学校の跡地を利用し、カナダ産の丸太で建てられたログハウス風のホテル。岩見沢産の食材を使った洋食に舌鼓を打ち、天然温泉に浸かってゆっくりくつろげます。

●岩見沢市毛陽町183番地2 ☎0126-46-2222 日帰り入浴11:00～20:00、入浴料は大人(平日)1,000円(土日祝)1,200円、小人300円

岩見沢市 Data

🚌公共交通／JR札幌駅からJR岩見沢駅まで特急で約25分、普通列車で約45分、もしくは都市間高速バスで約1時間。JR旭川駅から特急で約1時間
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道岩見沢IC経由で約30分、旭川から同じく約1時間

【お問い合わせ】
岩見沢市経済部観光物産振興課 ☎0126-23-4111(内線:2323)
ホームページ／<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>
【移住・定住のお問い合わせ】
岩見沢市企画財政部企画室 ☎0126-23-4111(内線:3215)



🏠住宅支援 🚶就業・起業支援 🌾新規就農支援 🍼子育て支援 🏠福祉(高齢・介護) 🏠短期滞在プラン(お試し暮らし) 🏠その他

24市町紹介

Yubari

アイヌ語で「鉱泉のわき出る所」を意味する「ユウバロ」から

夕張

特産品



夕張メロン

国内外にその名が知れ渡る高級赤肉メロン。栽培方法や地域性による高い品質と評価を示す農林水産省のGI制度に認定され、今や日本を表する高品質メロンに成長。



夕張メロンまつり

夕張メロンの無料試食や夕張メロン模擬セリなど、夕張市の特産品である「夕張メロン」の魅力がたっぷり詰まったおいしいイベントです。
●夕張市南清水沢4丁目105番地3(夕張友西(ゆうゆう)市場) ☎0123-52-3128



滝の上公園

夕張川の浸食によってできた、奇岩や大小無数の滝からなる渓谷。紅葉の名所でもあります。

●夕張市滝ノ上5番地 ☎0123-52-3128
開園期間：4月下旬～11月上旬



豊かな自然が育む ブランドメロンの産地

かつて炭鉱まちとして栄えた夕張は鹿島地区が湖底に沈む「シュエパロ湖」をはじめ、夕張市石炭博物館」など数々の炭鉱の軌跡に巡り合うことができます。また、花の百名山として知られる「夕張岳」や紅葉の景勝地「滝の上公園」など、四季を彩る豊かな自然に囲まれており、山間地の昼夜の寒暖差を活かした「夕張メロン」が特産品です。近年は財政再生と両輪で、将来を見据えた多様な活動や交流の創出、子どもの賑わい循環、夕張高校の特色ある教育の応援など、地域再生にも注力しています。

Iwamizawa

岩見沢

バラが季節を告げる 空知エリア最大の都市

冬には豪雪のまちとして知られる岩見沢ですが、春・秋には、のどかな田園風景や道内最大級のバラ園の眺め、ワイナリー探訪、遊園地「北海道グリーンランド」などを楽しむことができます。秋には、世界最大級(直径2.2m)の白で(俵60kg)の餅をつきあげる豪快な「いわみざわ百餅祭り」があり、真冬には名物「きじ鍋」が振る舞われる「IWAMIZAWAドカ雪まつり」を開催。空知の炭鉱遺産の情報を網羅したセンサー(P2参照)も、ここ岩見沢にあります。



いわみざわ公園バラ園

6月下旬～10月中旬にかけて、約8800株のバラとハマナスが次々に咲き誇ります。(P17参照)
●岩見沢市志文町794番地 ☎0126-25-6111(色彩館)

いわみざわ百餅祭り

200kgの杵をみんなで持ち上げ、一気に上から突き落として1俵の餅をつくお祭り。つきたての餅は見物客に振る舞われます。毎年、9月の敬老の日を最終日とした3日間で開催。



旧村名の幌向（ホロムイ）はアイヌ語で「大きい入江（湾）」を意味する「ボロムイ」からとも

Nanporo

南幌



ピュアホワイト・あまいんです

生でもフルーツのような甘さが楽しめるトウモロコシ「ピュアホワイト」と「あまいんです」。北海道で早くから栽培を手がけたのが南幌町の生産者グループです。

●南幌町明るい農村ネットワーク ☎011-378-1462

子ども室内遊戯施設「はれっば」➡

水遊び場や大型すべり台が人気の南幌町中央公園内に、子ども達がいつでものびのびと遊べる室内の遊び場「はれっば」がオープン。ポーネルドのたくさんの遊具が楽しく、子どもを見守りながらゆっくりとくつろげるカフェも併設。新たなファミリーの人気スポットとして注目です。

●南幌町美園3丁目1 南幌中央公園内
☎011-398-7021（南幌町まちづくり課）



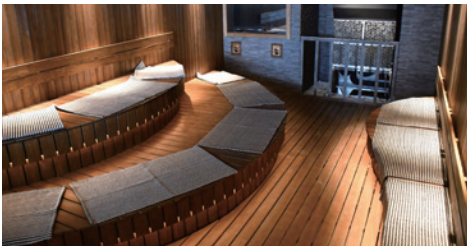
大都市札幌に一番近い豊かな農業のまち

札幌や新千歳空港から車で1時間圏内にありながら、広大な田園風景を持つ南幌。まちの約7割が農地で、新鮮な農作物が豊富に生産されています。中でもキャベツは道内有数の産地で、それを使った「南幌キャベツキムチ」には根強いファンが。また最近では甘く白いトウモロコシ「ピュアホワイト」が人気を高めています。町内で最も生産量が多いのは「米」。「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などの良食味米がまちの自慢です。「美味しい」と、町内外にファンを増やしています。

ふるさと物産館ビューロー

町内全体を見渡せる高さ26mの展望台を有する、まちのシンボルです。館内には特産品の販売所をはじめ、軽食喫茶コーナーや情報コーナーもあります。➡

●南幌町中央1丁目2番22
☎011-378-7020
6:30～21:00、12月31日～1月3日休
入館無料



なんぼろ温泉ハート&ハート

源泉かけ流しの湯が楽しめる温泉宿泊施設。七色にライトアップされる回廊が湯めぐり気分を演出します。レストランではなんぼろ温泉名物のキャベツ天井を召し上げられ。

●南幌町南9線西15番地 ☎011-378-1126
日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人750円（サウナ施設利用の場合1,000円）、子ども300円、未就学児無料

南幌町 Data

🚗 公共交通／JR札幌駅から快速でJR北広島駅へ、JRバスに乗り換えて約45分。
中央バス（都市間高速バス）で約40分
🚗 自動車利用／道央自動車道江別東IC経由で札幌から約35分、旭川から約1時間30分
【お問い合わせ】
南幌町まちづくり課 ☎011-378-7019
ホームページ／http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



アイヌ語の地名「タンネト」が「細長き沼」を意味するため

Naganuma

長沼

特産品



ジンギスカン

長沼町民のソウルフードといえば、ジンギスカン。長沼三大ジンギスカンと呼ばれる名店がそれぞれ秘伝の味で勝負しています。異なる個性を町内で食べ歩いてみるのもオススメです。（P7参照）➡

タやけ市

6、7、9月の第4土曜に開催。町内中心部の本通り商店街を歩行者天国にして、さまざまな露店やアトラクションが登場。家族連れや子どもに大人気のイベントです。

●☎0123-88-2221（長沼町商工会）
17:30～20:00



長沼町 Data

🚗 公共交通／JR札幌駅から快速でJR北広島駅へ、JR北海道バスに乗り換え長沼町内まで約45分
🚗 自動車利用／札幌から国道12号または274号と道道札夕線経由で約50分、旭川から道央自動車道岩見沢IC経由で約2時間
【お問い合わせ】
長沼町産業振興課観光係 ☎0123-76-8019
ホームページ／http://www.maai-net.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
長沼町政策推進課企画政策係
☎0123-76-8015



夕陽と田園風景が美しく調和するまち

札幌や千歳など主要都市にもほど近い、農業のまち・長沼。特に大豆、白菜、長ネギは道内で有数の生産量を誇ります。休日ともなると、直売所などで売られる新鮮な農産物めあてにドライブがてら訪れる人も多く、ファームレストランやベーカリー、アイスの店にも人気店がたくさんあります。温泉、ゴルフ、スキー、キャンプなどの楽しみ処や、ジンギスカンやワインなどグルメも豊富。さらに、陶芸家ほかさまざまなアーティストの工房が集まるまちです。

シャトレーズ ゴルフ&スパリゾートホテル栗山

丘陵地帯に広がる本格27ホールを有するゴルフ場。ラグジュアリーな宿泊施設と天然温泉、洋菓子店を備えたリゾートとして、癒やしの場としても親しまれています。

●栗山町森 ☎0123-72-6600
4月上旬～11月中旬、冬期休業



まちの駅「栗夢プラザ」

栗山町の特産品を販売するほか、「まちの案内人」が町内の情報を発信しています。栗山町を訪れるなら、まずはここに立ち寄ってから。

●栗山町中央2丁目92番地 ☎0123-73-5515
10:00～17:00、水曜休、年末年始休



きびだんご

大正12年創製、当時から今まで自然の原料だけを使い、懐かしい味の「きびだんご」。北海道開拓の精神と関東大震災の復興を願い、「起備団合」と名づけられました。道民に長く愛されているお菓子です。

●栗山町錦3丁目134番地（谷田製菓株式会社）
☎0123-72-1234
土曜・日曜休



アイヌ語で「栗の木の繁る所」を意味する「ヤム・ニ・ウシ」から

Kuriyama

栗山

ムカデ 夏まつり百足競走

毎年7月下旬に開催される由仁町の一大イベント。小さな子どもから大人まで部門ごとにチームを作り、かけ声を合わせて百足競争を行います。出場する人も観戦する人も、心をひとつに大盛り上がり。百足競走は由仁町のカントリサインにもなっています。

●由仁町東栄87番地の1（文化交流館ふれ～る前）



特産品

タルトケーキ



ヤリキレナイ川

町内を流れるユニークな名前の川ですが、語源はアイヌ語で「魚の住まない川」を意味する「ヤンケ・ナイ」や「片割れの川」を意味する「イヤル・キナイ」と言われています。また、明治時代に氾濫を繰り返したため、住民たちが「ヤリキレナイ」と呼び始めたという説も。



ポップ館ゆに

観光案内所やバスやJR、タクシーの待合所として活用されている施設です。由仁町を知るための拠点として活躍しています。

●由仁町本町364番地の2 ☎0123-83-2355
観光案内窓口9:00～16:00
（4月～10月 土曜・日曜・祝日 10:00～15:00）



さつまいも

ジャガイモやタマネギ、メロンなどさまざまな農作物が収穫される由仁町。中でも、最近旬となっているのが「さつまいも」です。町内の農家が様々な品種を生産していますが、由仁町と隣町の栗山町の若手農家がつくる「由栗いも」の人気は急上昇中！タルトケーキやソフトクリームなども販売されています。

●由仁町観光協会 ☎0123-83-2136

アイヌ語で「温泉のある所」から「ユウニ」から

Yuni

由仁

豊かな農作物と豊かな時間のあるまち

時間がゆつたりと流れていくかのような田園風景の由仁。実は新千歳空港に近く、札幌をはじめとする道内主要都市へのアクセスも良い良好なポジションにあるまちです。有名なガーデン、温泉、ゴルフ場があるため、札幌や旭川などから訪れる人も多数。観光スポットとしては、馬追丘陵からの景観もオススメです。農作物の中では、由仁町と隣町の栗山町で構成されるJAそらち南は、「種馬鈴しよ（タネイモ）」の道外出荷量が日本一。ジャガイモのふるさととして全国各地の農家のもとへ届けられ、美味しいジャガイモのまじになっていきます。

由仁町 Data

🚗 公共交通／JR札幌駅から特急でJR岩見沢駅へ、普通列車に乗り換えJR由仁駅まで約1時間、JR旭川駅から同じく約1時間30分
🚗 自動車利用／札幌から国道274号経由で約1時間、旭川から道央自動車道岩見沢IC経由で約2時間
【お問い合わせ】
由仁町地域活性化課 ☎0123-83-2112
ホームページ／http://www.town.yuni.lg.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
由仁町移住交流支援センター ☎0123-83-3755
ホームページ／http://yuni-sumai.com/



栗山は、国蝶オオムラサキの国内で北東限の生息地。1980年代の発見を機に、豊かな自然環境を守ることやそれを学ぶ自然教育への取り組みを進めてきました。（P13参照）

平野部と山間部の中間であり、かつ道内における北方圏と南方圏の気候が交わる位置にあるため、多品種・多品目の農産物を生産できることがまちの特長です。

また、名前が縁で栗山英樹監督と交流があることも、まちの自慢。地域での行事や活動を通じて長年に渡り、住民との交流が続いています。



コンチェルトホール

音響の良さが国内でも屈指の音楽ホール。数多くのコンサートを開催し、出演アーティストたちから「またこの場所で演奏したい」との声を頂いています。

●奈井江町奈井江町243番地24
☎0125-65-6066



交流プラザみなクル

平成25年にJR奈井江駅となりオープン。町民誰もが気軽に利用し、集った人同士が会話を楽しんだり、待ち合わせたり、読書したり。平成27年にオープンした「コミュニティカフェスマイル」も好評。

●奈井江町奈井江町74番地
☎0125-74-5574
9:00～17:00、12月31日～1月5日休



道の駅 ハウスアルビ奈井江

「日本一長い直線道路」のほぼ中間地点に位置する道の駅。北欧風の建物内では、地元産米を使った作りたてのおにぎりが味わえる売店があります。特産品の販売スペースや米粉ソフトクリームも人気です。

●奈井江町奈井江28番地1
☎0125-65-2278



ゆめぴりか

全国各地の産地・品種の中から「今、一番食べてほしいお米」として日経トレンディ主催「第6回米のヒット甲子園」(令和2年)で「特別栽培米ゆめぴりか」が大賞受賞。ふっくらとしたつややかな炊き上がり。粘りと甘さの特徴があるお米です。



アイヌ語で「砂多き川」を意味する「ナエ」から転訛

Naie

奈井江



砂川市立病院

29診療科、405床を完備した空知を代表する基幹病院です。人間ドックなどの病气予防にはじまり、各診療から入院、手術、緩和ケアなどの終末期医療、出産、小児医療まで、充実した設備の中で地域の健康を支えています。

●砂川市西4条北3丁目1番1号 ☎0125-54-2131
土曜・日曜・祝日・年末年始休診



すながわスイーツ

昔から多くの菓子職人が腕を競い合っていた砂川のまち。国道12号を中心に和菓子から洋菓子までさまざまなお店があり「すながわスイーツロード」と呼ばれるように。お菓子は砂川の大きな魅力です。(P14参照)

ご当地スイーツ



アイヌ語の地名「オタ・ウシ・ナイ」がオタ=砂、ナイ=川の意であるため

Sunagawa

砂川



砂川ハイウェイオアシス館

道央自動車道の上下線ともに直結し、「子どもの国」に隣接。館内には北海道を代表するお土産品が揃う「オアシスプラザ」や、空知の新鮮野菜や特産品などを取り扱う「そらいちマーケット」があります。また、レストランでは北海道の食材を生かしたメニューが好評です。

●砂川市北光336番地7 ☎0125-53-2460



北海道子どもの国

232.5haの広大な敷地には255種の樹木や野草が茂り、エゾリスやウサギ、タヌキやキツネなどの野生動物にも会えます。ふわふわドームなどの遊具やパークゴルフ場、バーベキュー場などがあり、1日中楽しめる公園です。

●砂川市北光401番地1 ☎0125-53-3319
4月下旬～11月上旬(施設により休園日あり)、9:30～17:00

奈井江町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR岩見沢駅へ、普通列車に乗り換えJR奈井江駅まで54分。JR旭川駅から特急でJR滝川駅へ、普通列車に乗り換えJR奈井江駅まで55分

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から同じく約1時間5分

【お問い合わせ】

奈井江町産業観光課商観光係 ☎0125-65-2118

ホームページ／<http://www.town.naie.hokkaido.jp/>

【移住・定住のお問い合わせ】

奈井江町企画財政課政策推進係 ☎0125-65-2112



が横断しています。

田園地帯が広がる自然豊かさと同時に、札幌まで車で約1時間というアクセスの良さが魅力の、都会と田舎の利点を併せ持つまち。健康と福祉のまちとして医療・介護・福祉に力を入れているのに加え、まちづくり自治基本条例、子どもの権利条例、おもいやりの障がい福祉条例などを通し、町民一人一人が主役となつてまちづくりを行っています。町内を日本一の直線道路(国道12号)29・2km)や北海幹線(日本一の農業用水路、石狩川(道内一の大河))が横断しています。

いろいろな「一番」あり健康と福祉も充実

砂川市 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅まで約50分、JR旭川駅から同じく約40分

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道砂川ISAスマートIC経由で約50分、旭川から同じく約40分

【お問い合わせ】

砂川市経済部商工労働観光課観光係 ☎0125-54-2121

ホームページ／<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/>

【移住・定住のお問い合わせ】 砂川市総務部政策調整課企画調整係

☎0125-54-2121



のまちとして有名です。

主要都市・札幌と旭川の間にあり、道内どこへ行くにも便利な優れた交通環境を持つ砂川。一方で、市民1人あたりの都市公園面積が日本有数の広さを誇り、まさに「公園の中にあるまち」と呼べる一面も。地域医療の中核を担う拠点として市立病院を有するほか、出産・子育て支援を積極的に実施しています。お菓子や化粧品、革製品など地元資本の企業が活気に溢れていることも特長で、全国・海外に展開している企業が多数あります。そして何よりも、昔からスイーツのまちとして有名です。

新旧の産業がともに成長を続けるまち



仮装盆踊り・花火大会

毎年8月に開催される、上砂川町の夏の風物詩。上砂川獅子神楽、大ピンゴ大会、子供盆踊り、仮装盆踊り、花火大会など盛りだくさんの内容です。至近距離で打ち上げられる花火は頭上に広がり迫力満点。町内外から数多くの方が来場される、町を代表するイベントです。



母町である砂川町よりパンケ歌志内川の上流にあることから

Kamisunagawa

上砂川



ニジマスの燻製、ニジマス燻製醤油

町内で飼育から加工まで行っているニジマスの特産品。風味豊かな燻製はそのまま、燻製醤油はお刺身やサラダに。パンケの湯で購入できます。

ご当地グルメ

かみすながわぐると紅葉マラニック

令和5年から毎年10月に開催している上砂川町の一大イベント。北海道で最も面積が小さい上砂川町を紅葉を堪能しながらひと回りし、美しい自然と地元の特産品をお楽しみいただけるイベントです。



上砂川岳温泉パンケの湯

原生林に囲まれた緑豊かな山間の温泉宿です。温泉施設のそばから湧き出る源泉は「美人の湯」と呼ばれるほどの美肌効果に加え、20種類以上の効能が認められています。レストランでの食事を楽しめます。

●上砂川町上砂川65番地106 ☎0125-62-2526 日帰り入浴10:00～22:00(最終入館21:30)、入浴料は大人500円、子ども300円

上砂川町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅へ、中央バス歌志内線に乗り換えて約1時間20分、JR旭川駅から同じく約1時間

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道砂川ISAスマートIC経由で約1時間

【お問い合わせ】

上砂川町企画課企画振興係 ☎0125-62-2223

ホームページ／<http://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/>

【移住・定住の問い合わせ】 同上



かもい岳スキー場

初心者から上級者まで、広いゲレンデで安心してスキー、スノーボードを満喫できます。例年、12月初旬から3月下旬まで楽しめるパウダースノーが魅力です。

●歌志内市歌神95番地9
☎0125-74-5900



市内を二分して西に向かい流れる「ベンケウタシュナイ川」に由来

Utashinai

歌志内



うたしないチロルの湯

旧炭鉱の坑口から湧き出る「美肌の湯」が楽しめます。大自然の中で開放的な入浴です。

●歌志内市中村78番地3 ☎0125-42-5588 日帰り入浴6:00～8:00、10:00～22:00、不定休(6月と11月に2、3日設備点検日あり)、入浴料は大人500円、子ども300円

なんこ料理

馬の腸(なんこ)を煮込んだ炭鉱マンのパワーフードとして親しまれた郷土料理です。(P6参照)



春秋に神秘的な雲海を生じるかもい岳の麓、谷間に拓かれた日本一小さな「市」が、歌志内です。スキーなどのウィンタースポーツが楽しめるかもい岳のゲレンデへは、中心部から車で5分という近さ。「自然とともに自分のペースでゆったりと生活することができるまち」なのが魅力です。かつて炭都として栄えた当時の記憶は、タイムスリップ気分で展示物を楽しめる郷土館や、旧上歌会館悲別ロマン座(P4参照)ほか、市内に残る炭鉱遺産の数々でのぶことができます。

かもい岳に抱かれる風が穏やかなまち

歌志内市 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅へ、中央バス歌志内線に乗り換えて約1時間30分、JR旭川駅から同じく約1時間20分

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道砂川ISAスマートIC経由で約45分

【お問い合わせ】

歌志内市産業課 ☎0125-42-3215

ホームページ／<https://www.city.utashinai.hokkaido.jp/>

【移住・定住のお問い合わせ】

歌志内市企画財政課 ☎0125-42-3214





アイヌ語で「網を干す場所」を意味する「ウライウシ」から

Urausu

浦臼



うらうす夏の納涼花火大会（鶴沼公園）

浦臼の夏を彩る一大イベント。大迫力の花火大会のほか浦臼いらずま太鼓などのステージイベント、特産品の販売もあり、浦臼を満喫できること間違いありません。

●浦臼町宇キナウスナイ188番地306 ☎0125-68-2114（浦臼町役場産業課） 8月初旬の日曜・10:00～20:30



浦臼町郷土史料館

浦臼を開拓した先人たちの文化財遺産や生活を物語る展示をしているほか、入植者の一人である坂本龍馬の甥・坂本直寛や龍馬の養嗣子・坂本直の遺品に加え、坂本龍馬に関係する資料も展示しています。（P5参照）

●浦臼町宇ウラウシナイ183番地21 ☎0125-68-2237 4月26日～10月31日、9:30～16:00、月曜・火曜休（祝日の場合は翌日）入館無料

観光
スポット

道の駅つるぬま

（浦臼町自然休養村センターうらうす温泉内併設）

うらうす温泉内にあり、温泉も楽しめる道の駅。特産品コーナーにある浦臼工場「エゾシカソーセージ」が人気。 ※令和2年9月よりうらうす温泉建物内に移動。

●浦臼町キナウスナイ188-214 ☎0125-68-2626 4月下旬～9月30日、10:00～18:00/10月1日～4月下旬、10:00～17:00、月曜休（祝日の場合は翌日）



丘にブドウ棚が連なる
龍馬一族ゆかりのまち

ワイン大好き・永遠の32歳！の臼子ねえさん（浦臼町観光大使）ゆるキャラがPRする通り、浦臼は広大なワイン用ブドウ畑があるまち（P8、9参照）。ワインに合う牛肉も生産されているほか、メロンやマンゴーも作られています。また町内で、幻のそばと呼ばれる「ぼたんそば」を味わえるのも魅力です。さらに浦臼は、坂本龍馬ゆかりの地。北海道（蝦夷地）移住を計画しながら果たせなかった龍馬の死後、甥などが入植し農場を営みました。今でも町内に「坂本家の墓」が残されています。

浦臼町 Data

☎公共交通／JR旭川駅からJR奈井江駅へ、美自校観光バス「浦臼砂川線」に乗り換えて約1時間25分
🚗自動車利用／札幌から国道275号経由で約1時間20分、旭川から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間10分
【お問い合わせ】
浦臼町総務課 ☎0125-68-2111
ホームページ／<https://www.town.urausu.hokkaido.jp/>
【移住・定住のお問い合わせ】
同上



清らかな水が流れる
美味しいお米の里

面積約100ha、標高850mの高地に広がる「雨竜沼湿原」が世界的に知られる雨竜。稲作を中心とした農業のまちで、暑寒別連峰から流れ込む清らかな水が美味しいお米を育てあげます。こだわりの栽培法で生産されるこの「うりゅう米」。現在、生産力向上と作業効率アップのため、まちをあげて水田の大規模化に取り組んでいます。また、子育て支援策にも力を注いでいるほか、タクシールの助成や心配ごと相談など、住民のためのケアも充実させています。

うりゅう米

暑寒別連峰の雪解け水を湛える暑寒ダムから水を引く雨竜の水田。清流と澄んだ空気はぐくむお米は、有機肥料を使い、超低温籾（もみ）貯蔵にこだわり、美味しさを最大限に引き出しています。そんな雨竜産のお米は「うりゅう米」としてブランド化されています。



特産品

道の駅 田園の里うりゅう

国道275号沿いにある道の駅。「雨竜沼自然館」では町内在住の写真家岡本洋典さんが撮影した湿原の写真などを展示、特産品直売施設では、「うりゅう米」をはじめ「暑寒メロン」など、旬の農産物が購入できます。

●雨竜町満寿28番地3 ☎0125-79-2100 10:00～18:00（施設や時期によって異なる）、年末年始休

雨竜町パークゴルフ場

トドマツコースとダリアコース各18ホールを整備。道具はレンタルできるので、気軽に手ぶらで楽しむことができます。シーズン中は毎月大会を開催。子どもからシニアまで多くの町民が楽しく汗を流しています。

●雨竜町32番地いきき元気村内 ☎0125-77-2289 4～11月、8:00～18:00（または日没）料金は1日大人500円、子ども250円

雨竜町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR滝川駅を経由し、中央バスに乗り換えて約1時間15分、JR旭川駅から同じく約55分
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間30分、旭川から道央自動車道深川IC経由で約50分
【お問い合わせ】
雨竜町産業建設課商工観光担当 ☎0125-77-2248
ホームページ／<http://www.town.uryu.hokkaido.jp>
【移住・定住のお問い合わせ】
雨竜町総務課企画財政担当 ☎0125-77-2211



北空知エリア



フルーツ狩り

深川はりんごやサクランボなど多彩な種類の果物を栽培しており、りんごだけでも約40種と、品種数は道内随一の「果樹王国」です。7月はサクランボ、8月はブルーベリーやプラム、9月はプルーンやりんごなど夏から秋にかけてフルーツ狩りが楽しめます。

●市内各果樹園（深川観光協会にお問い合わせください） ☎0164-34-5581（深川観光協会）

深川市 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅まで1時間6分、JR旭川駅から同じく19分
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道深川IC経由で約1時間、旭川から国道12号経由で約35分
【お問い合わせ】
深川市経済・地域振興部商工労働観光課観光特産係 ☎0164-26-2264
ホームページ／<https://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/section/shokoro/index.html>
【移住・定住のお問い合わせ】
深川市移住定住サポートセンター ☎0164-26-2627
ホームページ／<https://www.city.fukagawa.lg.jp/iju/>



花火大会

毎年7月末に行われる「ふかがわ夏まつり」の最終日、空知エリアで最大級の花火大会が開催されます。昭和27年に始まった夏の風物詩。約3000発もの花火が豪華絢爛に夜空を彩ります。

●深川市・石狩川河川敷 ☎0164-22-3146（深川商工会議所）



ふかがわまい

深川は全国でも有数の米どころ。「ふっくりんこ」「ゆめぴりか」「なつぽし」などの良食味米を、クリーン農業に取り組みながら生産しています。



Fukagawa

域内を流れる大鳳川のアイヌ語「オオホ・ナイ＝深い川」が語源

深川

特産品

道の駅 ライスランドふかがわ

「米」がテーマの道の駅。その場で握ってくれるおにぎりや炊き立ての釜飯などを味わえるほか、深川産米や旬の農産物のほかご当地グルメ「深川そばめし」などの特産品が勢ぞろいしています。また、深川産米粉を生地に練り込んだふかがわ米キャラクター「こめっち」の形をしたこめっち焼きは、もちもちとした食感が特徴で老若男女問わず人気です。

●深川市音江町広里59番地7 ☎0164-26-3636 9:00～19:00（施設、時期により異なる）、12月31日～1月2日休



おいしいものいっぱい
魅力たっぷり米どころ

東京23区をひとまわり小さくした面積で北海道のほぼ中央に位置するまち・深川。四季の移ろいが美しく、春にはカタクリの花が群生し、夏には夜空を彩る花火が見る人たちを魅了します。実りの秋になると、「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」などのブランド米の収穫でまちが活気づき、一面が銀世界になる冬には「氷雪まつり」の会場が子供たちの歓声でいっぱいになります。そのほか、季節ごとのグルメや、サイクリングなどのアクティビティも多彩。「いつ来ても魅力たっぷり」の深川です。

Shintotsukawa

明治23年、移住者の出身地・奈良県十津川にちなみ新十津川とした

新十津川



注目
イベント

金滴酒造

明治39年創業、道内外にその名を知られる銘酒を生み出す酒蔵。新十津川に移住した人々は「10年間の断酒」を誓って開墾に専念し、その苦勞が報われた成果としてこの酒蔵が誕生しました。（P9参照）

●新十津川町中央71番地7 ☎0125-76-2341



明治22年、大水害に襲われ奈良県十津川村から移住した人々を祖とする（P5参照）新十津川。米、メロン、トマト、シイタケなど豊富な農産物があり、なかでも酒米の作付面積は道内一！6月陶芸まつり、7月ふるさとまつり、10月味覚まつり、1月雪まつりと四季折々のイベントでは、新十津川町の魅力や食を堪能できます。リニエアルした「ふるさと公園」ではバーベキューコーナーや噴水広場、ネット遊具などご家族みんなで楽しみたいだけます。

ふるさとまつり・雪まつり

夏と冬に、ユニークなアトラクションが人気の二大まつりを開催。「ふるさとまつり」（ふるさと公園、7月下旬）では落ちないよう泥池までの距離を競う「泥（デイ）ブリッジ選手権大会」、「雪まつり」（北中央公園、1月下旬）では中華鍋に座って行う「国際中華鍋押相撲選手権」が目玉。多彩なプログラムがあり、グルメも楽しめます。

●☎0125-76-2134（新十津川町産業振興課）



開拓記念館

移住してきた600戸2489人から始まるまちの歩みを伝えようと、開町90周年を記念して昭和55年に建設。「新十津川の自然と歴史」「母村・十津川村の自然と歴史」など、7テーマに分けて展示しています。

●新十津川町中央1番地1 ☎0125-76-2622 10:00～16:00（金曜は～13:00）、月曜休、11～4月冬期休館 入館料は高校生以上200円、小・中学生100円、ほか各種割引あり

物産館

大きなクジラのモチーフが目につく、特産品・名産品の展示販売スポット。メロン、地酒、笹、ごまなど素材の味が生きた6種の「新十津川アイス」が人気です。

●新十津川町中央5番地1 ☎0125-76-3141（株式会社 新十津川総合振興公社）3～10月は10:00～17:30、11～2月は10:00～16:00（レストランは11:00～14:30 ラストオーダー14:00、月曜・火曜休）



新十津川町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急列車でJR滝川駅へ、中央バスに乗り換え約1時間、JR旭川駅から同じく約40分
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道滝川IC経由で約1時間
【お問い合わせ】
新十津川町総務課企画調整グループ ☎0125-76-2131
ホームページ／<https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/>
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



アイヌ語で「イラ草のある所」を意味する「モセウシ」から

Moseushi

妹背牛

ご当地グルメ

石焼チーズカレー

妹背牛温泉ペベル内のレストラン「米里（べいりー）」の人気メニュー。熱々の石鍋にスパイシーなカレーと濃厚チーズをトッピング。最後までアツアツでボリューム満点の一品です。

●妹背牛町妹背牛5208番地1 ☎0164-32-4141（妹背牛温泉ペベル）



遊水公園うらら

スリーオンスリーコートや水遊び場に遊具広場、27ホールのパークゴルフ場などを完備し、アクティブに1日中遊べる公園。特に5レーンもあるウォータースライダーは、距離も長く、迫力満点で子どもたちは大喜び。利用期間は7月～8月。

●妹背牛町妹背牛5189番地 ☎0164-32-2063

妹背牛温泉ペベル

豊富な湯量を誇る天然温泉。温泉施設をリニューアルしオートロウリュ大型室内サウナやパレルサウナを導入。極上の「とのい体験」を提供。宿泊用のコテージも完備。

●妹背牛町妹背牛5208番地1 ☎0164-32-4141 日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人700円、小学生350円、幼児無料、その他各種割引料金あり



妹背牛町カーリングホール

屋内専用カーリング施設として、冬は4シートを整備し、全国規模の大会も開催されています。また、初心者でも楽しめるようにレンタル用具も充実。夏はふわふわドームなどがそろった屋内遊具施設として子どもたちに大人気です。（P15参照）

●妹背牛町妹背牛5181番地2 ☎0164-32-9511

妹背牛町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、空知中央バスに乗り換え約1時間10分、JR旭川駅から同じく約30分

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道深川西IC経由で約1時間、旭川から国道12号経由で約40分

【お問い合わせ】妹背牛町企画振興課企画振興グループ

☎0164-32-2411（内線127）

ホームページ／http://www.town.moseushi.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】同上



Chippubetsu

アイヌ語で「通路のある川」を意味する「チックンベツ」から

秩父別

ご当地グルメ

ちっぷべつ 緑のナポリタン

ブロッコリーの産地・秩父別のご当地グルメです。ブロッコリーパウダーを練りこんだ緑の Pasta を町内産トマトジュースで作ったソースでいただく一品。見た目のインパクトもさることながら、味も美味しいと評判です。



道の駅 鐘のなるまち・ちっぷべつ

道の駅の目の前には、国内最大級のスイングベルが鳴り響く開基百年記念塔があります。特産物展示館では、お土産物のショッピングを。敷地内には「秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆ」も。

●秩父別町2085番地 ☎0164-33-3902 9:00～17:00（11～3月は～16:00）、11～3月の火曜休、12月30日～1月5日休



3世代公園ベルパークちっぷべつ

人気施設ことも屋内遊戯場「キッズスクエアちっくる」や、高さ13m、幅58mの大型屋外遊戯場キュービックコネクション、キャンプ場などを備えた、子ども連れのお出かけにオススメの公園です。秩父別温泉も隣接しているため遊んだ後は家族みんなで汗を流しましょう。

●秩父別町1264番地 ☎0164-33-2555



全耕地面積の9割が水田の空知屈指の米産地として国内最大級のスイングベルが鳴り響く鐘のなるまちです。道北最大のバラ園（P17参照）や温泉、また、屋内遊戯場に加えて大型屋外遊戯場もあります。

特産品の代表はブロッコリー。それを加工した「緑シリーズ（「緑のナポリタン」「緑のラングドシャ」「緑のアイス」等）がご当地商品として注目されています。また、「子ども子育て応援宣言」のまちとして家賃の助成など、まち独自の子育て支援事業を充実させているのも秩父別の特長です。

秩父別町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、普通列車に乗り換えてJR秩父別駅まで約1時間20分、JR旭川駅から同じく約35分

🚗自動車利用／札幌から道央自動車道深川JCT経由で約1時間35分、旭川から同じく約35分

【お問い合わせ】秩父別町企画課企画・まちづくり係 ☎0164-33-2111

ホームページ／https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】同上



夏はほたるの光、冬は白い雪が彩る

夏の、ほたるの光、夜高あんどん祭りの美しさで知られる沼田。しかし一方では、冬に大量に降る雪と共存するまちづくりを目指して「輝け雪のまち宣言」（平成14年6月21日）をし、貯えた雪の冷気で貯蔵する「雪中米」や「雪中椎茸」「雪中そば」、純米酒「雪なごり」など、雪を活用して魅力ある特産品を生み出しています。

町内には、スキー場、ゴルフ場、温泉をはじめ、炭鉱の歴史を知る資料館や蒸気機関車の展示（P4参照）、ユニークな実践ができる「化石体験館」なども楽しめます。

特産品

Numata

沼田

トマトジュース「北のほたる」

町内で栽培する完熟トマトから作るジュースが好評です。製造も町内の農産加工工場で行い、道の駅やほろしん温泉ほたる館などでも購入できます。また、全国各地から通信販売で求めるファンもいるほどの人気です。



ほろしん温泉ほたる館

ほたるの里の中にある温泉宿泊施設です。開拓時代から癒しの水として伝説が残る源泉から引くお湯は、疲れを取り活力を養ってくれると評判です。また、ほたるの里には、キャンプ場やパークゴルフ場もあり、ゆっくりと滞在して楽しめます。

●沼田町幌新377番地 ☎0164-35-1188 日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人500円、小学生250円、幼児無料



雪の活用

雪を活用した雪国ならではのまちづくりに取り組んできた沼田町。雪冷熱によるシタケ栽培など、多くの取り組みが評価されています。



ひまわりライス

減農薬で栽培される北竜町のお米は、誰がどの水田で栽培したかを明確にするトレーサビリティを確保し、「ひまわりライス」としてブランド化されています。美味しさと一緒に、安全・安心をお届けすること、それが北竜町の生産者の思いです。



観光スポット

道の駅 サンフラワー北竜

2頭の龍が出迎えるオランダ風の建物が道の駅です。温泉や宿泊施設、物産品を販売するお店やレストラン、遊具施設などが集まり、さまざまな楽しみ方ができます。道の駅の裏手には一面のひまわり畑も。

●北竜町板谷163番地2 ☎0164-34-3321 8:00～22:00（施設や時期により異なる）、無休

北竜町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、空知中央バス深滝線に乗り換え妹背牛で下車し、町営北竜妹背牛線に乗り換え約1時間40分。JR旭川駅から同じく約50分

🚗自動車利用／札幌から国道275号経由で約2時間、旭川から国道233号経由で約1時間

【お問い合わせ】北竜町企画振興課企画係 ☎0164-34-7029

ホームページ／http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】同上



夜高あんどん祭り

開拓者・沼田喜三郎のふると（現・富山県小矢部市）から伝承されたお祭りです。高さ7m・重さ5トンの大型あんどんをはじめ、大小20数基のあんどんが町内を練り歩きます。夜に行われるぶつかり合いの喧嘩あんどんは迫力満点。一見の価値あるお祭りです。

●夜高あんどん実行委員会・沼田町夜高あんどん保存会 ☎0164-35-2231 沼田駅前などで8月下旬に開催

沼田町 Data

☎公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、普通列車に乗り換えJR石狩沼田駅まで約1時間30分、JR旭川駅から同じく約1時間

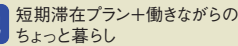
🚗自動車利用／札幌から道央自動車道、深川沼田道路経由で約1時間30分、旭川から湯内トンネル経由で約45分

【お問い合わせ】沼田町産業創出課 ☎0164-35-2155

ホームページ／http://www.town.numata.hokkaido.jp/

【移住・定住の問い合わせ】

沼田町住民生活課移住定住応援室 ☎0164-35-2115





北海道空知地域創生協議会

〒068-8558 北海道岩見沢市8条西5丁目 北海道空知総合振興局内 ☎0126・20・0036